

平成30年度地方創生推進交付金活用事業について

1. 交付金の概要

【交付金の名称】

- ・地方創生推進交付金

【事業概要】

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの

【対象事業】

地方創生の深化の裾野を広げる取組

<具体例>

しごと創生（中小企業等の生産性向上、空き店舗対策、観光振興等）、地方への人の流れ（生涯活躍のまち、移住促進等）、働き方改革（若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等）、まちづくり（小さな拠点等）

【資金流れ】

国 $\xrightarrow{\text{交付金 (1/2)}}$ 地方公共団体

【事業実施数及び交付実績額】

採択事業 : 6事業

交付実績額 : 75,355,823円

2. 実績の評価

- ・PDCA サイクルにより、事業を推進するため、毎年度、外部組織による効果検証を実施することとなっている。

■山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議における評価対象事業一覧

	交付金の名称	交付対象事業の名称	事業の概要(平成30年度)	総事業費(円)	交付決定額(円)
1	地方創生推進交付金	明治150年を契機とした観光目的地及び産業創出事業	「サイクル県やまぐち」イメージ創出に向け、サイクルスポーツ振興による交流人口の拡大を目指すために設立された実行委員会(競技団体、観光振興団体、経済団体等)に対する負担金	5,000,000	2,500,000
2		おいでませ！山口広域観光地域づくり推進事業	山口市の特色あるアート資源やスポーツ資源を活用した観光ツーリズムの造成や観光プロモーションの推進 国内外からの誘客促進に向けた都市間ツーリズムの促進 観光地ビジネスの創出に向けた地旅の受入環境整備や湯田温泉ゾーンのブランド化事業の実施	92,914,126	43,390,500
5		山口市生涯活躍のまち構想推進事業	生涯活躍のまち構想に基づく重点エリアの推進(湯田地域における「多世代・健康増進拠点施設」の整備に向けた調査、研究等) 山口県立大学との共同開設であるアクティブシニア支援センターの運営を通じて、「山口市生涯活躍のまちコーディネーター」を育成 アクティブシニアの仕事づくり、職場復帰支援、移住促進に向けた情報発信	18,672,173	8,586,086
4		やまぐちクリエイティブ人材育成事業	クリエイティブ産業に従事する人材の育成業務(人材育成講座、セミナー、情報発信等) 小中学生を対象としたプログラミング教育講座等の開催	15,352,800	7,676,400
5		ふるさと山口若者移住定住促進プロジェクト	若者就職支援事業の実施(セミナーの開催) 事業承継・人材確保支援事業の実施(セミナーの開催、アンケート実施) 大学生等を対象とした企業訪問バスツアー等の開催 移住定住フェア・セミナーへの参加や移住フェアの開催、本市の地域・観光資源を紹介するPR情報誌「彩都山口」の製作・配布 山口情報芸術センター(YCAM)学校連携事業の実施	24,088,891	11,752,437
6		人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業	経営力向上・人材育成事業の実施(シンポジウムの開催) 亀山周辺ゾーン・中心市街地ゾーンの回遊を図るための基礎調査として、通行量調査の実施 中心商店街賑わい・交流創出イベントの開催	2,900,800	1,450,400
合計				158,928,790	75,355,823

地方創生推進交付金事業報告書
(平成30年度実施分)

交付対象事業の名称（地方創生推進交付金事業）	担当課	頁
1 明治150年を契機とした観光目的地及び産業創出事業	-	1
・我がまちスポーツ推進事業（「サイクル県やまぐち」推進事業）	スポーツ交流課	
2 おいでませ！山口広域観光地域づくり推進事業	-	3
・明治維新150年記念事業	観光交流課	
・観光地ビジネス創出事業	観光交流課	
・アートトリップ推進事業	観光交流課	
・スポーツツーリズム推進事業	観光交流課	
・都市間ツーリズム促進事業	観光交流課	
・インバウンド観光誘客推進事業	観光交流課	
・観光マーケティング推進事業	観光交流課	
・観光プロモーション事業	観光交流課	
・山口観光維新DMO推進事業	観光交流課	
・周遊型博覧会準備事業	県央博覧会準備室	
・シティセールス推進事業費	企画経営課	
3 山口市生涯活躍のまち構想推進事業	-	5
・生涯活躍のまち構想推進事業（総合的な推進）	企画経営課	
・生涯活躍のまち構想推進事業（地域交流拠点の形成）	企画経営課	
・生涯活躍のまち構想推進事業（ふるさと創生推進事業）	ふるさと産業振興課	
・生涯活躍のまち構想推進事業（新産業創出促進モデル事業）	ふるさと産業振興課	
4 やまぐちクリエイティブ人材育成事業	-	7
・クリエイティブ人材育成事業	ふるさと産業振興課	
5 ふるさと山口若者移住定住促進プロジェクト	-	9
・シティセールス推進事業費	企画経営課	
・やまぐち定住実現プロモーション事業	定住促進課	
・UJIターン就労支援事業	定住促進課	
・雇用対策事業	ふるさと産業振興課	
・就職支援事業	ふるさと産業振興課	
・事業承継・人材確保支援事業	ふるさと産業振興課	
・子ども芸術体感事業	学校教育課	
6 人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業	-	13
・人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業	ふるさと産業振興課	

明治150年を契機とした観光目的地及び産業創出事業

1 事業の概要

所管課	交流創造部スポーツ交流課		計画期間	平成28年4月 - 令和3年3月	
交付金の種類	地方創生推進交付金		単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、美祢市、長門市)	
政策目標	1	若い人々をターゲットに、山口に“しごと”をつくる	政策目標	2	山口に新たな“ひと”の流れをつくる
具体的な施策	(2)	観光・交流のまちづくり	具体的な施策	(3)	幅広い世代を対象にした移住促進
具体的な取組	12	ニューツーリズムの推進	具体的な取組	42	農山漁村地域の地域資源のフル活用
政策目標			政策目標		
具体的な施策			具体的な施策		
具体的な取組			具体的な取組		
事業の概要(目的)			事業実施の状況		
<p>「サイクル県やまぐち」のイメージ創出に向け、サイクルスポーツ振興による交流人口拡大を目指す。</p>			<p>◇「サイクル県やまぐち」の推進 「サイクル県やまぐち」の推進に向け設立された実行委員会に対する負担金</p> <p>実行委員会において以下の事業を実施</p> <p>○シンボルイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30. 9. 15 秋吉台カルストロードレース ・H30. 9. 16 維新やまぐちクリテリウム ・H30. 9. 17 Let'sエンジョイゆめ花サイクル ・H30. 10. 7 やまぐち十種ヶ峰国際ダウンヒル <p>※6日は台風接近のため中止</p> <p>○サイクルスポーツ環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルエイド・サイクルステーションの整備 ・サイクルピットの整備 ・サイクリングルート路面表示 等 <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルポータルサイトの運営 ・サイクルエキスポ等への出展 等 		
事業の概要(経費内訳)					
総合サイクルイベント負担金 (2,500千円)					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (平成29年度)	実績値(増分) (平成30年度)	目標値(増分) (平成30年度)
①	観光客数(増加人数)	人	30,500,000	1,925,960	957,668	500,000
②	外国人延べ宿泊者数(増加人数)	人	86,580	24,810	53,000	28,017
③	観光消費額(増加額)	百万円	139,548	2,539	▲2,173	2,090
	※参考指標 シンボルイベントの参加者数(観客含む)	人	15,000	4,400	17,400	

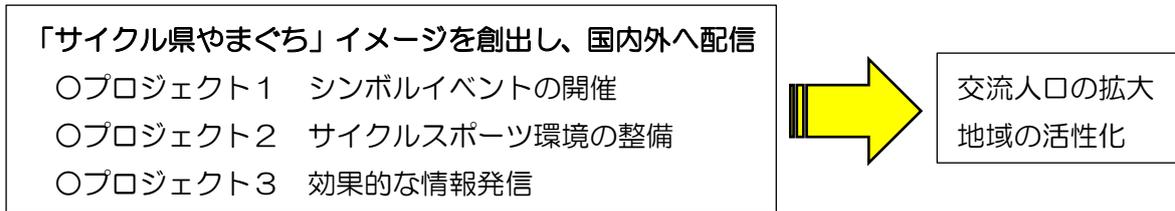
(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	荒天により一部中止があったものの国内最高峰のサイクルイベントを開催することによって、交流人口の拡大につなげることができた。また、サイクルスポーツの環境整備や国内外への情報発信により、新たな観光誘客を図ることができた。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	シンボルイベントを継続して開催するとともに、民間を主体としたサイクルツーリズムの基盤づくりに向けて、サイクリングツアーの造成支援やサイクル情報等を発信する民間人を積極的に活用することにより、魅力あるサイクルツーリズムの創出を図り、更なる交流人口の拡大や地域の活性化を目指す。

明治150年を契機とした観光目的地及び産業創出事業
(サイクル県やまぐちの推進)



■推進体系



■平成30年度の主な取組

○シンボルイベントの開催 (All Yamaguchi Ride festa2018) **参加者 17,400人**

- ・国内最高峰ロードバイクレース・マウンテンバイク国際大会
H30.9.15 秋吉台カルストロードレース
H30.9.16 維新やまぐちクリテリウム
H30.9.17 Let's エンジョイゆめ花サイクル
H30.10.7 やまぐち十種ヶ峰国際ダウンヒル (荒天により一部縮小)
- ・関連イベント
阿東サイクリングツアー、キッズライドイベント、レース観戦ツアー (りんご狩り等)
ポタリング

○サイクルスポーツ環境の整備

- ・サイクルエイド・サイクルステーション整備 県内54カ所に整備
- ・サイクルピットの整備 県内5カ所に整備
- ・宿泊施設へのサイクリスト用設備の設置支援 県内3施設 (萩市、徳地、岩国市)
- ・サイクリングルート路面標示 (近隣県との広域エリアで統一したデザイン標示)

○効果的な情報発信

- ・サイクルポータルサイトの運営
- ・国内外で開催された主要サイクルエキスポ等への出展、サイクルスポーツ雑誌等への掲載

■令和元年度の展開方針

民間を主体としたサイクルツーリズムの基盤づくり

○シンボルイベントの開催 (All Yamaguchi Ride festa2019)

- ・維新やまぐちタイムトライアル、秋吉台カルストロードレース、やまぐち十種ヶ峰国際ダウンヒルの開催

○サイクルスポーツ環境の整備

- ・詳細版サイクルルートマップの作成
- ・サイクルエバンジェリストの積極的活用
- ・長期滞在に向けた体験コンテンツの創造

○効果的な情報発信

- ・アクセラレーターによる SNS を活用した情報発信を本格稼動
- ・欧米を意識した海外情報誌による情報発信

おいでませ！山口広域観光地域づくり推進事業

1 事業の概要

所管課	交流創造部観光交流課		計画期間	平成28年12月 - 平成31年3月	
交付金の種類	地方創生推進交付金		単独事業と広域事業の別	広域 (山口市、宇部市、美祢市、防府市)	
政策目標	1	若い人々をターゲットに、山口に“しごと”をつくる	政策目標	1	若い人々をターゲットに、山口に“しごと”をつくる
具体的な施策	(2)	観光・交流のまちづくり	具体的な施策	(2)	観光・交流のまちづくり
具体的な取組	9	オール山口による観光地域づくりの推進	具体的な取組	12	ニューツーリズムの推進
政策目標	1	若い人々をターゲットに、山口に“しごと”をつくる	政策目標		
具体的な施策	(2)	観光・交流のまちづくり	具体的な施策		
具体的な取組	15	明治維新150周年を契機とする観光需要の拡大	具体的な取組		
事業の概要(目的)			事業実施の状況		
<p>若者にとって魅力ある雇用の場の創出や地域経済の活性化に大きな効果を及ぼす観光の振興を図るため、関係機関や「やまぐちDMO」と連携して、圏域のワンストップ窓口としての役割を担うDMOを組織化し、観光産業の強化を図ることにより、若者の雇用の創出へと繋げ、「交流人口のみならず、定住人口もおいでませ！圏域」を目指す。</p>			<p>◇おいでませ！アート圏域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新150年関連「山口ゆらめき回廊」事業 ・ほたる観賞Week！事業 等 <p>◇おいでませ！スポーツ圏域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングプラン・マップの造成 ・レノファ山口活用観光PR事業 等 <p>◇DMOの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯田温泉観光回遊企画事業 ・観光地ビジネス創出事業 等 <p>◇観光地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス発祥の地を生かした誘客素材の作成やプロモーション活動の実施 ・薩長同盟等を活用した都市間連携事業 等 		
事業の概要(経費内訳)					
<p>おいでませ！アート圏域の形成 (1,250千円) おいでませ！スポーツ圏域の形成 (1,249千円) DMOの構築 (7,340千円) 観光地域づくり (33,551千円)</p>					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (平成29年度)	実績値(増分) (平成30年度)	目標値(増分) (平成30年度)
①	観光客数(増加人数) ※山口・宇部・美祢・防府 合算値	人	9,850,000	317,295	1,301,563	290,000
②	外国人観光客数(増加人数) ※山口・宇部・美祢・防府 合算値	人	75,035	12,880	25,217	16,600
③	観光消費額(増加額) ※山口・宇部・美祢・防府 合算値	千円	78,721	2,501,554	10,261,523	2,286,360
	※参考指標 観光客数 (山口市単独分)	万人	-	122,890	1,284,246	100,000
	※参考指標 外国人観光客数 (山口市単独分)	人	-	12,393	25,726	3,000

(2) 評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に非常に効果があった。	理由 アートやスポーツと観光のマッチングによる新たな観光の誘客を図ることができたとともに、地域ブランド造成やDMO的機能の構築により観光による経済効果の拡大を図ることができたため。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 持続的な誘客促進と消費拡大を図るため、地域ブランド造成や、効果的なPR、潜在消費促進の仕組みづくり等について、更に発展的に事業展開していく必要があるため。

おいでませ！山口広域観光地域づくり推進事業概要

■平成30年度に実施した事業について

【おいでませ！アート圏域の形成】＜特色ある観光コンテンツの造成＞

山口市の特色あるアート資源を活用した新たな観光の形としてアートツーリズムの推進を図るため、大内文化ゾーンのまちあるきを促進する「ほたる観賞Week!」実施に係るチラシ印刷や明治維新150年事業による「山口ゆらめき回廊」の拡大実施により、アートに係るブランドの醸成を図り、観光誘客・周遊促進につながる仕組みづくりを行った。

【おいでませ！スポーツ圏域の形成】＜特色ある観光コンテンツの造成＞

山口市の特色あるスポーツ資源を活用した新たな観光の形としてスポーツツーリズムの推進を図るため、4市連携による新たに防府市を加えたサイクリングマップの制作により、サイクルファンを誘客するとともに観光周遊の促進を図った。

【DMOの構築】

＜DMO体制づくりに向けた事業＞

DMO的機能を取り入れた戦略的事業展開を図るため、インバウンド受入体制の強化等に向けた人材育成が重要となるため、全国通訳士検定試験の英語・フランス語の資格を持つ人材を確保・育成した。また、アンケートによる観光動態調査や、重源の郷における観光資源の戦略的活用に向けた調査研究を行った。

＜観光地ビジネス創出に向けた事業＞

自立性、収益性のある地旅の受入環境整備、又は湯田温泉のブランド化・おもてなし向上に向けた企画事業を実施し、滞在消費の伸びがビジネスにつながる仕組みづくりを行った。

【観光地域づくり】

＜国内外からの誘客促進に向けた都市間ツーリズムの促進＞

明治維新150年を機に薩長同盟のつながりを生かした鹿児島市との日本酒の共同製作や、「クリスマス発祥の地」を生かしたフィンランド・ロヴァニエミ市との連携によるクリスマス関連イベント等による地域資源のブランディング及びプロモーションを実施し、都市間連携・広域連携を生かした観光誘客を図った。

「山口ゆめ花博」の開催を受け、花にまつわる博覧会を縁に、国際イベントである「2018台中フローラ博覧会」に参加し、シティセールスを通じて、インバウンド事業における重点市場である台湾との観光・経済交流を深め、さらなる誘客促進を図った。

山口市、宇部市、美祢市、防府市をはじめ圏域を周遊する観光ルートの造成など周遊型博覧会を見据えた広域観光の推進を図った。

◆令和元年以降

平成29年3月の「山口県央連携都市圏域」（山口市・宇部市・萩市・防府市・美祢市・山陽小野田市・島根県津和野町の7市町）の形成により、これまでの4市連携事業を発展化させた、新たな7市町の枠組みによる圏域の総合的な観光事業のマネジメント体制の仕組みづくりや、広域プロモーション事業の展開、近年増加するインバウンド誘客の更なる取組、圏域7市町の周遊性を高める取組、地域資源の更なる磨き上げの取組を随時実施し、令和3年度に「山口ゆめ回廊博覧会」を開催することで、圏域内外に本圏域の魅力を広く発信していくとしている。

山口市生涯活躍のまち構想推進事業

1 事業の概要

所管課	総合政策部企画経営課		計画期間	平成28年12月 - 平成31年3月	
交付金の種類	地方創生推進交付金		単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)	
政策目標	2	山口に新たな“ひと”の流れをつくる	政策目標		
具体的な施策	(3)	幅広い世代を対象にした移住促進	具体的な施策		
具体的な取組	39	移住、定住に向けたプロモーション活動	具体的な取組		
政策目標			政策目標		
具体的な施策			具体的な施策		
具体的な取組			具体的な取組		
事業の概要(目的)			事業実施の状況		
<p>都市的な魅力と自然資源の両方を併せ持つ山口市の魅力を背景に、就労、学術研究、生涯学習、ボランティア、スポーツ・文化活動、ビジネス交流等、既存の取組みをベースとした様々な魅力ある活躍の場を創出し、主に首都圏在住のアクティブシニアが、新たなライフスタイルを求めて積極的に移住先として選びたいくなる“ライフスタイル維新”のまちを目指す「山口市生涯活躍のまち」形成を推進する。</p>			<p>(1) 重点エリアである湯田地域において、山口大学と連携して湯田温泉の健康・美容効果検証事業を行った。 (2) 山口県立大学と連携して開設したアクティブシニア支援センターを通して、平成29年度に設置した地域交流拠点の活動計画策定支援やコーディネーター育成を行った。 (3) シニア向けのセミナーや合同就職面接会を開催したほか、クラウドファンディングを活用した事業の支援を行うことにより、アクティブシニアの仕事づくりを行った。 (4) ロボットを活用した医療、介護分野を補完する新たな公共領域を支える産業創出のモデル事業を実施した。 (5) 東京圏に拠点を置く山口七夕会を通じて東京圏でのネットワーク構築や魅力発信を行った。</p>		
事業の概要(経費内訳)					
<p>(1) CCRC地域交流拠点の整備 (1,000千円) (2) 山口市生涯活躍のまちコーディネータ育成 (6,716千円) (3) アクティブシニアの仕事づくり (5,850千円) (4) シニアの職場復帰支援(新産業創出促進) (4,687千円) (5) 多様なネットワークを活用した魅力発信 (421千円)</p>					

2

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (平成29年度)	実績値(増分) (平成30年度)	目標値(増分) (平成30年度)
①	東京圏等からのアクティブシニア(50歳以上)の移住数(現状との対比)	人	18	11(-7)	23(5)	168(150)
②	地域交流拠点の設置箇所	箇所	0	5(5)	5(0)	5(5)
③	65歳以上の就職人数(山口公共職業安定所管内)	人	160	194(34)	218(58)	250(90)

(2) 評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由 本市の地域資源等を生かしながら、地域活性化や地域課題の解決に取り組む事業者を支援することを通じて、アクティブシニアの仕事づくりをはじめ、雇用の創出や地域のにぎわい創出などの地方創生に効果があった。 また、アクティブシニア等の移住支援に取り組む地域交流拠点を育成し、地域や事業者主体の活動展開につなげた。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。)	理由 クラウドファンディングを活用した仕事づくりについて、事業の実績や成果検証を踏まえて、事業規模や手法について最適化を図るとともに、総務省の起業家支援プロジェクトなどの新たな支援施策も活用するなど、適宜見直しを行いながら取り組む。

山口市生涯活躍のまち構想推進事業の概要について

- ・「山口市生涯活躍のまち構想」を平成28年11月に策定
- ・KPI(重要業績評価指標)達成のため、構想に基づくプロジェクトとして、アクティブシニアの受け皿づくり、情報発信事業等を推進

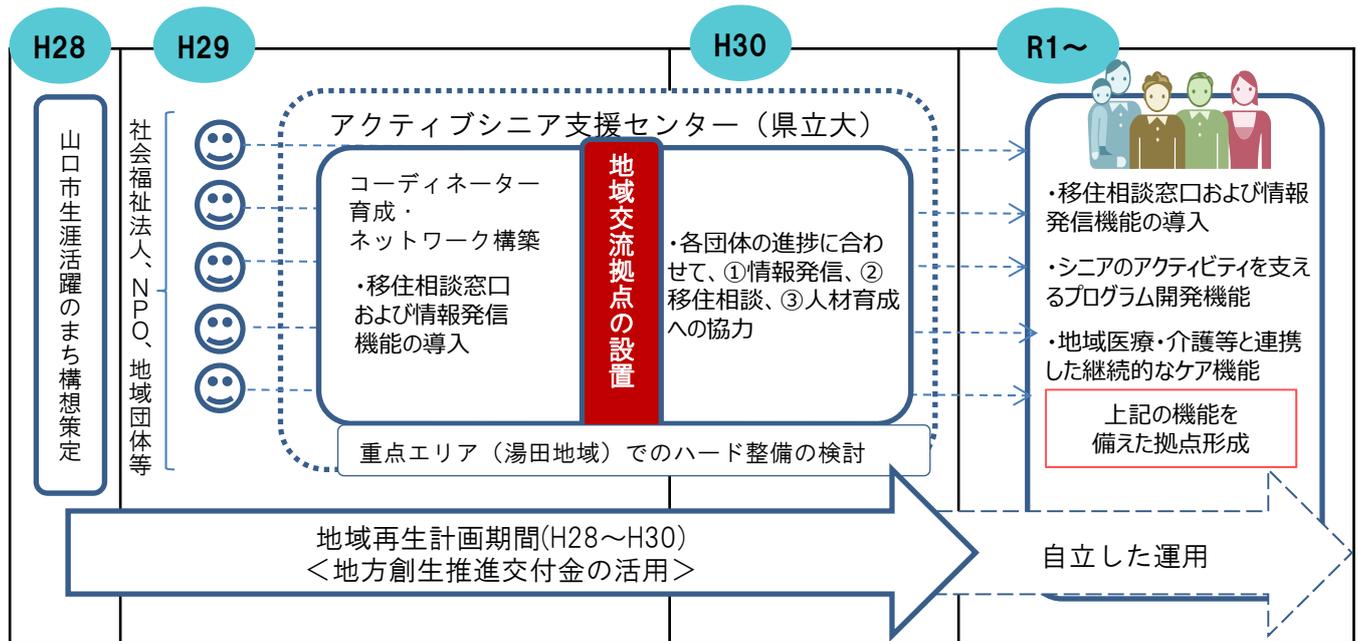
KPI: 東京圏からのアクティブシニア(50歳以上)の移住者を平成25年度より年間50人増 ⇒H29 7人減 ⇒H30 5人増
 ◆転入超過人数 H25(基準年):18人、H29:11人(11-18=7人減)、H30:23人(23-18=5人増)、

※全国的な傾向として、東京圏への一極集中(2018年の東京圏への転入超過は約14万人)が続いており、山口市においても同様の状況。

ただし、本市への全国からの50歳以上転入超過者は堅調に推移(H28:183人、H29:191人、H30:143人)

(1)CCRC地域交流拠点の整備

(2)山口市生涯活躍のまちコーディネータ育成



(3)アクティブシニアの仕事づくり

65歳以上の就職人数 H28:183人 H29:194人 H30:218人

- ・平成29年7月7日に山口労働局との間で「山口市雇用対策協定」を締結し、平成30年1月、11月に「アクティブシニア・セカンドライフ応援セミナー」および「アクティブシニア合同就職面接会」を開催。
- ・クラウドファンディングを利用したアクティブシニアの仕事づくりを推進。(自社養魚鮎を使った加工品開発プロジェクト)

(4)シニアの職場復帰支援(新産業創出促進)

- ・医療、介護分野を補完する新たな公共領域を支えるサービスにより、高齢者や障がい者を含む、すべての人が活躍できる社会の創出を目指す事業を実施。モデル事業としてロボットを活用した歩行訓練等のリハビリ支援を行うことによる将来的な医療費、介護費の削減等について効果・検証を行った。

(5)多様なネットワークを活用した魅力発信

- ・アクティブシニアの移住を促進するため、本市に居住するアクティブシニアの紹介や、移住後のライフスタイルを具体的にイメージできるような情報を紹介する情報誌「エール50」の発行し、東京、大阪、名古屋における移住フェア等で配布。
- ・山口七夕会と連携し、東京圏におけるネットワーク構築について、調査を実施。

やまぐちクリエイティブ人材育成事業

1 事業の概要

所管課	経済産業部ふるさと産業振興課		計画期間	平成28年12月 - 平成31年3月	
交付金の種類	地方創生推進交付金		単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)	
政策目標	1	若い人々をターゲットに、山口に“しごと”をつくる	政策目標		
具体的な施策	(1)	雇用促進と中小企業振興(起業創業支援、サービス産業の活性化など)	具体的な施策		
具体的な取組	8	誰もが活躍できる就業環境の整備	具体的な取組		
政策目標			政策目標		
具体的な施策			具体的な施策		
具体的な取組			具体的な取組		
事業の概要(目的)			事業実施の状況		
ICT人材の育成を産学官が連携して取組むことで、東京圏からの仕事の獲得、優秀な人材を求める企業の誘致による雇用の創出及び若者定着へと繋げる。ICT技術を農業、金融、ヘルスケアなど業界の壁を越えて活用できるクリエイティブ人材の育成を進め、様々な分野でイノベーションによる地域経済の拡大及び雇用の創出を図る。こうした取組に加え、2020年からの小学校におけるプログラミング教育の必須化に先がけた取組を進め、中長期的な人材育成体制の構築を図る。			産学官で構成する市クリエイティブ人材育成地域再生協議会と連携を図りながら、通年を通じて各種セミナーや事業を実施し、専門スキルの向上から基礎知識の習得まで、幅広くクリエイティブ人材の育成につながる事業を実施した。 【平成29年度】 ◇小中学生を対象としたプログラミング教育講座の開催 ・ICTプログラミング教室「寺子屋Scratch」開催 ・プログラミング&ものづくりワークショップ開催等 ◇ICT現場における即戦力人材の育成 ・クリエイティブ人材育成・しごとに直結する実践講座・セミナー開催業務(IoTセミナー、実践型PC塾等) ・スポーツツールICT人材育成業務 等		
事業の概要(経費内訳)			【平成30年度】 ◇プログラミング人材教育強化事業 ・YC AMスポーツハッカソン及び未来の山口の運動会の実施 ◇情報産業人材教育強化事業 ・デザイン養成講座、Webデザイナー養成講座等、各種セミナーの実施 ・インターンシップの実施(㈱コア等市内情報関連企業) ・ICT人材育成シンポジウム開催 等		
ICT現場における即戦力人材の育成(11,433千円) プログラミング教育講座(3,486千円)					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (平成29年度)	実績値(増分) (平成30年度)	目標値(増分) (平成29年度)
①	ICT、デザイン等現場の即戦力人材育成 60人(3年間)	人	-	6	0	25
②	ICT、デザイン等に関する新規起業数 3件/年	件	-	2	5	3
③	ICT、デザイン等に関する誘致企業数 1件/年	千円	-	0	2	1

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	ICT人材育成に向けた講座や各種セミナー、シンポジウムの開催等、総合的なクリエイティブ人材育成に向けた事業を通じて、受講者から在宅ワークや起業につながった事例も生まれ、スキルの高度化が図られているとともに、女性の就労促進としても成果が生まれた。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。)	理由	平成30年度末をもって地域再生計画期間が満了したが、クリエイティブ人材の育成を通じた起業や雇用の創出、市内中小企業の活性化等が持続的に図られるよう、引き続き産学官で連携を図りながら事業展開を進めていきたい。事業内容については、民間企業による人材育成の取組や国県の政策等も踏まえながら、適宜見直しを行っていく。

やまぐちクリエイティブ人材育成事業の概要

【取組目標】

「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における地方創生に資する取り組みとして、「やまぐちクリエイティブ人材育成事業」を実施し、主に下記事項の推進を図っていく。

- ①クリエイティブ人材の育成
- ②若者・女性・高齢者等の就業・創業の促進
- ③育成した人材による産業力の強化
- ④新事業の創出
- ⑤人材の集積を利点とした仕事の誘致
- ⑥企業誘致等の雇用の創出による若者の定住促進

【地域再生計画における数値目標と実績】

項目	目標数値	H28 実績	H29 実績	H30 実績
ICT、デザイン等現場の即戦力人材育成	60人/3年	0人	6人	0人
ICT、デザイン関連企業の新規起業数	3件/年	1件	2件	5件
ICT、デザイン関連企業の誘致企業数	1件/年	1件	0件	2件

平成29年度事業実績

①小中学生を対象としたプログラミング教育講座等を開催

業務名	委託業者	参加者数(累計)	備考
デジタルツールの改変を通じたプログラミング人材育成事業	公益財団法人 山口市文化振興財団	8名	小中学生を対象にデジタルスポーツツールの操作、調整を通してプログラミングの根本にあるコンピューターショナルな志向を学ぶ機会をワークショップとして提供した。
ICTプログラミング教室「寺子屋Scratch」運営業務	株式会社DERESI	計67名	市内に通学する小学5年～大学生が対象に自己学習形式によるプログラミング学習を計4日実施した。
プログラミング&ものづくりワークショップ運営業務	学校法人野田学園	8名	野田学園中学高等学校の生徒が講師となり、小学4年～中学生を対象にプログラミングやレーザーカッターを活用した最新のものづくり体験を実施した。

②ICT現場における即戦力人材の育成

業務名	委託業者	参加者数(累計)	備考
スポーツツール ICT 人材育成事業	公益財団法人 山口市文化振興財団	9名	学生や社会人を対象に、スマホや小型コンピューターなどの既製品を使用し、スポーツに応用する改変スキルを身につける。ツールの積極的な運用と改変可能性への理解を深めた。
「テクノロジー×スポーツ」イベントにおけるツールやコンテンツの提供（新事業の創出）	公益財団法人 山口市文化振興財団	45名	これまでYCAMスポーツリサーチ・プロジェクトの研究開発成果をアウトプットするイベントとして実施してきた「スポーツハッカソン」や「未来の山口の運動会」において、研究開発過程に学生や市民の参画機会を設け、人材育成を実施した。
山口市クリエイティブ人材育成・しごとと直結する実践講座・セミナー開催業務 ※	女性創業応援やまぐち株式会社	計311名	ICT関連企業等と連携し、クリエイティブ産業に従事する者や志望している者を対象に、雇用に直結する実践講座・セミナーを開催した。

平成30年度事業実績

業務名	委託業者	参加者数(累計)	備考
プログラム人材教育強化事業	公益財団法人 山口市文化振興財団	計285名	情報芸術センター(YCAM)や大学といった研究機関と事業者をマッチングし、新しいテクノロジーを扱える人材育成や柔軟な発想力を養う ・YCAMスポーツハッカソン 平成30年5月4日(金)、5日(土) ・第三回未来の山口の運動会 平成30年5月6日(日)
情報産業人材教育強化事業	女性創業応援やまぐち株式会社	計474名	ICT関連企業等と連携し、クリエイティブ・情報産業に従事する者や志望している者(主として学生、若手社会人や女性)を対象に、必要とされるスキル等を習得するための講座やインターンシップの実施、さらにはシンポジウム・マッチングフォーラムを開催。 ①講座の開催 ・デザイナー養成講座・Webコーダー養成講座 ・実践型PC塾ライター養成講座等 ②インターンシップの実施 ③ICT人材ビジネスマッチングイベントの開催、シンポジウム等

ふるさと山口若者移住定住促進プロジェクト

1 事業の概要

所管課	経済産業部ふるさと産業振興課		計画期間	平成29年12月 - 令和2年3月	
交付金の種類	地方創生推進交付金		単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)	
政策目標	2	山口に新たな“ひと”の流れをつくる	政策目標	2	山口に新たな“ひと”の流れをつくる
具体的な施策	(3)	幅広い世代を対象にした移住促進	具体的な施策	(4)	教育・アート・観光・スポーツによる豊かな感性、まちの価値を育む都市づくり
具体的な取組	37	移住、定住に向けたプロモーション活動	具体的な取組	46	市民総参加のシティセールスの展開
政策目標			政策目標		
具体的な施策			具体的な施策		
具体的な取組			具体的な取組		
事業の概要(目的)			事業実施の状況		
<p>市内の大学生や高校生と地元企業とのマッチング、進学等のため市外へ転出している本市出身の若者のUターン就職の促進、地元企業の魅力をPRすることにより、地元定着やUターンを図り、若者の転出抑制につなげる。 また、市内企業の魅力をより多くの若者に向けて発信し、若者の市内での就業促進につなげる。</p>			<p>(1) 大学生等の市内就職・定着支援 ・高校生を対象とした職業理解のための講座や就職支援セミナー等を開催(ふるさと産業振興課) ・就業の場と雇用を確保するために企業に対する事業承継への支援や人材確保のための採用力アップセミナーを開催(ふるさと産業振興課) ・大学生等を対象とした企業訪問バスツアーやUJIターン創業セミナーを開催(定住促進課) ・就職後の職場定着を支援するセミナーの開催や働き方改革に取り組む企業の紹介(ふるさと産業振興課) (2) シティプロモーションによる移住定住の機運づくり ・移住定住フェア(東京等)でのブース設置や山口県央連携都市圏域事業として東京で移住フェアを開催(定住促進課) ・お試し暮らしツアーの開催や移住定住情報誌・チラシの製作、成人式におけるPRブースを設置(定住促進課) ・本市のイメージを効果的に発信する情報誌を製作、県内外への配布(企画経営課) (3) 定着志向性の醸成 ・メディア芸術を中心としたYCAMと学校の連携により、感性や創造性を育む特色ある学びを実施(学校教育課)</p>		
事業の概要(経費内訳)					
<ul style="list-style-type: none"> 若者就職支援事業(1,690千円) 事業承継・人材確保事業(5,168千円) UJIターン就労支援事業(551千円) 雇用対策事業(1,600千円) やまぐち定住実現プロモーション事業(4,259千円) シティセールス推進事業(4,565千円) 山口情報芸術センター(YCAM)連携事業(5,738千円) 					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (平成29年度)	実績値(増分) (平成30年度)	目標値(増分) (平成30年度)
①	若者(20歳~34歳)の転出超過の抑制	人	-237	-296	-561	120
②	市内4大学の県内就職率 (山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学)	%	38.5	-1.6	-1.0	5.0
③	「若年UJIターン者移転補助金」交付件数	件	2	2	5	10

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	交流による新たな賑わいと消費の創出、本市のブランド力の向上や定住人口の増加を県内外で複合的に取り組む中で、大学生や高校生などの若者に市内企業を知ってもらうことで地元就職の意識の醸成や地元企業に若者が就職できる雇用の場の維持・確保が図られた。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	平成30年度は、これまでの事業に加え、事業承継や人材確保、働き方改革などにかかる取組も実施し、企業の人材確保とともに、企業の魅力をより多くの若者に向けて発信し、若者の地元企業への就業促進につなげる取組を実施したが、令和元年度においても多くの市内学生等に波及していく事業として、継続・発展的に実施していく。

ふるさと山口若者移住定住促進プロジェクトの概要

<大学生等の市内就職・定着支援>

●若者就職支援事業

・職業理解のための講座・就職支援セミナーの開催

市内高校3年生の職業理解を図るための講座や1・2年生向けの企業訪問を学校単位で開催したほか、市内在住の高校生とその保護者を対象とした市内企業を訪問する職場見学バスツアーを実施した。

【開催回数】 職業理解のための講座・企業訪問：4回

【参加人数】 講座：146名（内保護者：3名）



●事業承継・人材確保支援事業

・企業に対する事業承継への支援や人材確保セミナーの開催

事業承継支援事業では、山口県央連携都市圏域事業として、経済団体を通じたアンケートやセミナー等を実施し、支援対象者の相談対応や掘り起しを行った。また、宇部市・防府市・山口市の3商工会議所・3商工会が全国で初となる事業承継の連携協力協定を締結した。

人材確保採用力アップセミナーでは、市内企業に対して採用方法や離職軽減対策の事例を紹介し、採用力の向上を図った。



【事行承継アンケート】 宇部市・防府市・山口市の6,500社を対象に実施

【開催回数】 事業承継セミナー：3回、人材確保セミナー：1回

【参加人数】 事業承継セミナー：約250名、人材確保セミナー：7名（7社）

●UJIターン就労支援事業

・大学生等を対象とした企業訪問バスツアー等の開催

就職を目前に控えた大学生等を対象に市内企業を訪問できるバスツアーを開催したほか、UJIターン創業セミナーとして、山口県央連携都市圏域の地域おこし協力隊等を対象としたWEB制作セミナーを実施した。



【参加人数】 バスツアー：10名、WEB制作セミナー：15名

●雇用対策事業

・職場定着支援セミナーや働き方改革に取り組む企業の紹介・情報発信

職場定着支援セミナーでは、入社後3年以内の若手社員の離職率が高いという課題に対し、地元企業への定着率を上げるとともに、将来の地域を担う若手社員の人材育成を図るため、経営者向け、若手社員向け、入社3年以内の社員向け研修を実施した。

【開催回数】 3回（社員～経営者向け研修）

【参加人数】 49名（31社）



<シティプロモーションによる移住定住の機運づくり>

●やまぐち定住実現プロモーション事業

・移住定住フェア、セミナーへの参加や移住フェアの開催

東京、大阪等の大都市圏域で開催されたフェアやセミナーに参加したほか、山口県央連携都市圏域事業として、7市町も共催で、東京において移住フェア「やまぐちと津和野のんびりLife」を開催した。

また、実際に本市に訪れ魅力を体験していただく、お試し暮らしツアーを阿東地域で開催したほか、移住定住情報誌・チラシの制作、成人式における定住促進PRブースの設置を行った。

【ツアー参加者数】 阿東地域：7組10人

【情報誌製作部数】 1,000部

【配布方法】 県外のフェア、セミナー時や東京、大阪の移住相談窓口で配布



●シティセールス推進事業

・情報誌「彩都山口」の製作

地域の魅力や資源を収集し、市内外（特に市外）に対し、本市や周辺自治体のイメージを効果的に発信することにより、多くの方が山口市や周辺自治体を訪れ、交流による新たな賑わいと消費を創出することを目指すとともに、山口市のブランド力の向上や定住人口の増加を目指し、情報誌を制作・発行した。

【制作部数】 15,000部

【配布先】



- (1) 市内を中心とした県内の公共施設、観光施設、観光案内所、医療機関（小児科）等
- (2) 県内及び近県の道の駅、おいでませ山口館等
- (3) 市外在住の市出身者（山口七夕会）やふるさとやまぐち寄附金実施者等

<定着志向性の醸成>

●山口情報芸術センター（YCAM）学校連携事業

・YCAM 教育コンテンツによる学校教育の充実

YCAM のメディア・テクノロジーをスポーツに応用した「スポーツハッカソン for Kids」を通じて、次期学習指導要領に対応する「論理的な思考力」と「コミュニケーション能力」を育成するための連携事業を行った。

また、児童生徒がテクノロジーに興味・関心を持つきっかけ作りとして、地域資源としての YCAM を訪問する「YCAM 校外学習ツアー」を実施した。



写真提供：山口情報芸術センター

【スポーツハッカソン実施校】 柚野木、中央、島地、八坂小学校による合同実施

【YCAM 校外学習ツアー実施回数】 11回

人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業

1 事業の概要

所管課	経済産業部ふるさと産業振興課		計画期間	平成30年8月 - 令和3年3月	
交付金の種類	地方創生推進交付金		単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)	
政策目標	1	若い人たちをターゲットに、山口に“しごと”をつくる	政策目標		
具体的な施策	(1)	雇用促進と中小企業振興(起業創業支援、サービス産業の活性化など)	具体的な施策		
具体的な取組	5	人々が集い賑わいのある商店街づくり	具体的な取組		
政策目標			政策目標		
具体的な施策			具体的な施策		
具体的な取組			具体的な取組		
事業の概要(目的)			事業実施の状況		
<p>リノベーション等空き店舗利活用やセミナー等経営基盤の強化、さらには新たな視点を取り入れたイベントの継続的な実施や、クリエイティブ人材やデジタルマーケティングの活用により中心商店街の活性化を図ることで、空き店舗が一つもない、活気ある、賑わいのある中心商店街を形成するとともに、市内外から訪れたいと思えるような中心商店街の形成を図り、山口都市核全体の魅力創出につなげる。</p>			<p>(1) 経営力向上・人材育成事業 ・中心市街地エリアに新たにオープンする広場の活用を通じた、中心商店街に係る人材のネットワークの構築、民間主体の継続的な取組による商店街の魅力向上に向けて、シンポジウムを開催。 (2) 中心商店街賑わい・交流創出事業 ・イベント開催委託：山口街中映画祭 「映画館のないまちの映画祭」をキーワードに商店街内の3箇所で開催。 ・通行量調査 山口都市核において、大内文化ゾーン、亀山周辺ゾーン、中心市街地ゾーンの一体性の促進、回遊性の向上を図るための基礎資料として、県道204号線沿線の通行量調査等を実施。</p>		
事業の概要(経費内訳)					
<p>経営力向上・人材育成事業(497千円) 中心商店街賑わい・交流創出事業(2,404千円)</p>					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (平成30年度)	目標値(増分) (平成30年度)
①	中心商店街への新規出店店舗数	店舗	32	3	2
②	中心商店街への新規出店店舗従業員数	人	0	14	8
③	中心商店街の来街者数(山口市商店街通行量調査)	人	54,798	-	1,000

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	KPIの達成状況では、中心商店街の新規出店店舗数及び従業員数について目標値を上回った。 中心商店街の活性化については、現状の正確な把握・分析と、商店街関係者など、活性化を担う人材、魅力を発信する取組が揃うことで効果の向上につながるため。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	中心商店街活性化に向けた取組については、効果の発現に時間を要するため、一過性の取組にならないように、積み重ねと発展が求められるため。

人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業の概要

(1) 経営力向上・人材育成事業

・まちなか広場デザイン会議

中心商店街に新たに整備した中市まちなか広場を契機として、まちなかにある公園や広場を市民の交流の場、活躍の場として積極的に活用していただくとともに、中心商店街全体のにぎわいを創出する仕組みづくりを検討するため、市民参加型の会議を開催。広場活用の先進事例の紹介を交えたシンポジウムや、パネルディスカッションを通じ、まちなかにある広場の活用の可能性について参加者の意識の醸成を図るとともに、中市まちなか広場のオープニングイベントを広場活用の実践の場と捉え、企画・運営を担う参加者を発掘した。



【開催時期】平成31年3月24日（日）

- 【会議内容】
- 1 基調講演「公共空間の使いこなしと新たなまちづくりプロセス」
 - 2 パネルディスカッション「まちなかの広場に対する市民の期待」
 - 3 オープニングイベントの企画ミーティング

(2) 中心商店街賑わい・交流創出事業

・イベント開催委託：山口街中映画祭

映画を契機とした商店街への新たな層の来場及び回遊に向けて、「映画館のないまちの映画祭」と題し、商店街内の施設3会場で、3本の映画を上映。上映後に渡す映画半券を商店街加盟店舗の割引券とすることで、回遊を促す仕組みとした。

【会場】中市コミュニティホール Nac

café&bar ショクバ

どうもんフィットネス

【上映作品】「マイマイ新子と千年の魔法」

「かぞくへ」

「四月の永い夢」

【来場者数】511人



・亀山周辺ゾーン及び中心商店街ゾーン通行量調査業務

- 県道204号宮野大歳線沿線ゾーンの一体性、回遊性強化を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施
- 早間田交差点、市民会館前交差点及び西京橋交差点において、地下道を含む歩行者及び自転車通行者の通行量調査を実施
- 男女別、年代別、方向別及び時間帯別の通行量を数取器で観測

【通行量調査実施日】3月22日（金）7時～19時、3月24日（日）7時～19時